

モニタリング実施報告書

平成30年度（定期）（本市）モニタリング実施報告書

施設名	那覇市若狭公民館
所在地	那覇市若狭2丁目12番1号
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 地域サポートわかさ 代表者 理事長 早川 忠光 住所 那覇市若狭1丁目9番7号 電話 (098) 917-3446
指定期間	平成30年4月1日～平成33年3月31日（3年度間）
モニタリングの実施方針・方法等	<ul style="list-style-type: none">・本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を「日報及び月報」、「事業報告書」、実地調査、利用者アンケート調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。・業務履行等モニタリングシート等を確認した結果を「モニタリングの総合コメント」、「今後の業務改善に向けた方針」に記載しました。
担当部課（問合せ先）	那覇市教育委員会生涯学習部 生涯学習課 TEL：098-917-3502 内線2597 E-mail：e-s-sya001@neo.city.naha.okinawa.jp

モニタリング総合コメント（本市）

民間のノウハウやネットワークを最大限に活かしながら、学校や地域自治会、企業など他団体とも幅広く連携し、社会ニーズや地域課題を的確に把握しながら魅力ある講座及び事業を展開するなど継続して安定した管理運営を行っている。

学級・講座に関しては、多様な機関と連携することで、経費を縮減しながらも幅広い事業展開ができ、受講者から高い評価を得ている。

平成30年度の特徴的な取組みとして、これまで公民館や地域との関わりが薄かった外国人留学生との交流を通し、地域の多様性や共生にも着目するユニークな事業を、昨年度から継続して発展的に実施している。また、「リッカ！ヤールーキャラバン！」「防災キャンプ」などの防災を楽しく学べる事業を通して、参加者が日頃の備えや、「共助」の大切さ、コミュニティ機能の重要性を再認識する機会となっている。

平成30年度は、これまでの地域の特性やニーズに応じた事業の企画運営、効果的な広報の手法等をはじめとする民間のノウハウと、それを日々実践する職員の熱意と努力が例年以上に全国的にも評価された。

実績として、「全国公民館報コンクール」最優秀賞をはじめ、「地域再生大賞」優秀賞、「マニフェスト大賞」ノミネート、「公園夢プラン」入選（曙地域で展開した「パーラー公民館」の取り組み）など、全国的な賞を相次いで受賞し、全国の公民館・社会教育関係者から注目を集めている。

また、文部科学省中央教育審議会による答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」（平成30年12月21日）においても、参考事例として若狭公民館の取り組みが複数掲載されるなど、全国の公民館の模範となっており高く評価できる。

今後の業務改善等に向けた方針（本市）

1 改善・是正事項

特になし

2 課題事項

広報の充実により、新規利用者は増え、平日夜間はほとんど空きがないほど稼働率している反面、平日昼間の利用が減少しているため、平日の昼間に利用可能な年齢層のニーズや特徴等を踏まえ、平日昼間の稼働率を上げる方策についての検討を要する。

なお、前年度課題としてあげられた、災害時や事件事故など緊急事態対応や、不審者対応、苦情対応等をまとめた、公民館独自の危機管理マニュアルの策定については、令和元年度上半期中には策定される見込みである。

1 基本的考え方及び管理体制

那覇市の公民館として、地域住民が心身ともに健康で明るく楽しい豊かな生活を送ることができるように、地域住民の学習ニーズや地域課題に応えるとともに、地域のコーディネーターとして、地域コミュニティの形成および生き甲斐づくりに寄与することを目的に、様々な学習機会や場の提供に努めている。

那覇市公民館条例、那覇市公民館条例施行規則及び関係法令等の遵守を基本に那覇市若狭公民館指定管理者基本協定に係る仕様書で定められた管理運営を遂行している。

平成30年度は、「頼りになる公民館」をテーマに、地域住民の多様な学習ニーズを把握するために若狭小学校区まちづくり協議会、曙小学校区まちづくり協議会、天妃小学校区まちづくり協議会準備会をはじめ、各地域団体の会議に参加すると同時に、市民からの学習相談にも力を入れ、各専門機関やNPO等との連携協力により、地域の実情に即した講座・事業を企画実施した。

施設の管理運営及び講座や事業の企画運営の充実を図る運営体制が整っており、貸館業務や利用団体育成、各講座等の業務分掌を明確にしながらも、業務日誌や職員朝会、職務会を活用して情報共有を心がけている。

2 公の施設のサービス向上及び経費削減

若狭公民館では「すべての人に開かれた公民館」をテーマに、ホスピタリティを基調とした来館者対応に心がけている。また、広報にも力を入れており、ホームページやSNSをはじめ、広報誌の充実など多様なメディアを駆使した結果、新規利用の問い合わせが増えている。このような取り組みは昨年度の「全国公民館インターネット活用コンクール」に続いて「全国公民館報コンクール」においても最優秀賞を受賞するなど、全国的にも高い評価を受けている。

地域住民の多様な学習ニーズの把握と自治会や小学校区まちづくり協議会等の地縁組織との連携強化を目的に、地域団体や関係機関へのヒアリングを行うと同時に、相談事業にも力を入れている。また、各専門機関やNPO等との連携協力により、地域の実情に即した講座・事業を企画実施している。若狭公民館からほど遠い曙小学校区においても、まちづくり協議会の定例会に参加し、地域の実情を把握すると同時に、連携体制構築に向けて取り組み、そのニーズから生まれた「パーラー公民館」の取り組みは地域づくりの優良事例として全国から注目されている。

学生団体やキャリア教育の専門家と連携・協力して取り組む「土曜朝塾」では、教員志望の大学生をインターンとして小・中学生を対象とした学習支援を行なっている。また、親子で楽しめる防災イベント「リッカ！ヤールーキャラバン！」では、学校・地域・各専門家が連携・協働し、それぞれの資源を活かしながら地域課題に向けて取り組んでいる。さらに、「こども国際映画祭 in 沖縄<KIFF0>」や「ジュニアジャズオーケストラ那覇ウエスト」、無料英会話教室「ELIPO」など、専門性を持ったNPO等団体と連携することで、公民館を拠点とした児童の文化体験活動を促進にも寄与している。

広報活動においても、企業協賛を募り、広報誌をA4サイズ8ページ、フルカラーで130,00部を年6回発行し、地域の新聞販売店の協力を得て広く配布している。

様々な工夫と努力を重ねることで、直営館の半分以下の事業費で、多様な講座・事業を多く実施すると同時に、公民館活動の意義や役割を広く発信し、その取り組みは様々な全国的な賞を受賞するなど、高い評価を得ている。

3 団体の概要及び管理運営能力（経営状態）

当法人は、若狭公民館近隣の6つの自治会長をはじめとする地域住民、民生委員児童委員学校長やPTA役員、公民館利用団体連絡協議会役員、近隣施設長などによるネットワーク組織である。毎月一回の定例会では、地域の課題や各機関・団体等の活動状況などの情報共有が図られると同時に、それぞれが連携することで地域の活性化に寄与している。

財務執行については、会計業務を担当する職員と長年企業の経理を務めてきた相談役に相談、助言をいただき、三役（理事長・副理事長）と共有しながら、館長／事務局長が管理執行している。

若狭公民館指定管理業務のほか、若狭児童館の指定管理業務を受託しているほか、補助金や助成金を活用しながら法人としての自主事業も行なっている。これらの会計については、事業ごとに通帳を管理し、会計区分を明確に管理している。